様式第１号

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（主幹等）	29 年 3 月 31 日
２次評価日（課長等）	29 年 3 月 31 日

1 事業名	コミュニティーバス運行事業	コード	142101

2 担当部課	部等	産業振興部	課等	商業観光課	作成者	佐藤　嘉泰

3 事業概要				
目的体系	基本目標	快適に生活できる、都市機能の充実したまち		
	政　策	交通網の整備	施　策	公共交通網の整備
	予算科目	シルキーバス運行事業費	業務委託	全部委託
	実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	あり
	根拠法令	なし		

●事業の内容（DO）

4 事業の概要等

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要（簡潔に）		移動手段等を持たない市民等が、買物や通院、通学、公共施設の利用のための移動手段としてシルキーバスを利用する。
目的	対象者	市民及び観光客
	意　図	公共交通空白地の解消を図り公共施設の利用促等に努める。

5 事業の実施内容

＊28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

平成12年7月に運行開始となり、市民の足として運行の重要性と必要性が認められている。
現在の運行形態は、岡谷市地域公共交通総合連携計画に基づき、市内全地域を網羅できるよう７路線で本格運行となっている。
平成28年12月には、岡谷市民病院外構工事が完成したことから、シルキーバスとスワンバスを乗り入れ開始し、岡谷市役所正面口を廃止するなど、岡谷市民病院をターミナルとして運行を開始した。

前年度の課題への対応	乗降調査等の結果を踏まえるなかで、岡谷市民病院への乗り入れに合わせダイヤ改正を行い経費削減に努めた。 利用者を増やすために啓発活動を実施した。

6 指標の達成状況

＊活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

区　分	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 活動指標（指標名）	年間総輸送客数			単位　人
実績値	145,695	140,970	136,541	
＊指標の説明	シルキーバスの乗客数			
② 成果指標（指標名）	年間総輸送客数			単位　人
目標値	150,000	151,000	140,000	140,000
実績値	145,695	140,970	136,541	
達成度	97.1%	93.4%	97.5%	
＊指標の説明	シルキーバスの乗客数			
＊目標値の設定方法の説明				

7 ア）コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

補助金負担金名	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 直接事業費	51,648,898	46,943,005	56,861,307	58,068,000
経常経費	51,648,898	46,943,005	54,668,907	58,068,000
臨時的経費	0	0	2,192,400	0
＊臨時的経費の説明	岡谷市民病院バス待合所設置			

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
② 人件費		5,040,000	5,040,000	5,040,000	5,040,000
正規職員の人数（人）		0.63	0.63	0.63	0.63
③ 合計コスト（①＋②）		56,688,898	51,983,005	61,901,307	63,108,000
前年度比			91.7%	119.1%	101.9%
財源内訳	一般財源	56,688,898	51,983,005	61,901,307	63,108,000
	特定財源	0	0	0	0
＊特定財源の説明					
④ 活動一単位あたりコスト		389	369	437	
前年度比			94.8%	118.6%	
⑤ コストに関する補足説明					

イ）補助金負担金の状況

［単位：件、円、%］

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
シルキーバス運行事業補助金	件数	1	1	1	1
	金額	51,640,938	46,943,005	56,861,307	58,068,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア）の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	51,640,938	46,943,005	56,861,307	58,068,000
	割合	99.98%	100.00%	100.00%	100.00%

＊行が足りない場合は追加してください

●事業の評価（CHECK）

8 妥当性評価

＊妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。　**妥当性　高い**

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

＊有効性＝成果指標（項目7／住民の満足度）は向上しているか。　**有効性　標準**

評価項目				はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。				1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。				1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。				1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比	96.9%		0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度	97.5%		0

●改善の内容（ACTION）

10 具体的な課題と改善

課題	（少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること） シルキーバスの利用者は高齢者が多いが、高齢者の運転免許証の保有率も上昇しているため、利用者が減少傾向になっている。
改善方法	（上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容） 利用者を増やし経費を削減することが望ましいが、今までも経費削減を続けてきているため、諏訪市と下諏訪町と協議するなかで運賃の改定を進める。
改善開始時期	平成29年4月から

●次年度の計画（PLAN）

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	B